

人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 桜丘中学・高等学校が「すらら」を導入 英語検定・数学検定対策の講座で「アダプティブ・ラーニング」の取組みを開始

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦 以下、すららネット）は、クラウド型学習システム「すらら」の提供、および、運用支援を行っています。この度、桜丘中学・高等学校（所在地：東京都北区 校長：平美佐子）で「すらら」を5月より導入し、検定対策講座の受講者に対して校内や家庭学習で活用を開始します。

今回、「すらら」を検定対策の講座で導入するに至ったのは、ICTを活用して、アダプティブ・ラーニング（適応学習）を取り入れるためです。

桜丘中学・高等学校では従来から検定対策に力を入れており、英語検定・数学検定の取得を推奨してきました。中学から高校へと学年が上がるに伴い、個々の学力や既習内容の理解に向けてはさまざまな指導が求められます。このような状況に対応し、さらに学力を向上させるためには、一人ひとりの学力に応じた指導の高度化が重要という判断から、アダプティブ・ラーニング機能を備える「すらら」を検定対策講座ならびに家庭での学習用として導入するに至りました。



▲「すらら」で学習する桜丘中学・高等学校の生徒（昨年、トライアルを実施）

一般的に検定対策講座では、生徒が目指す検定級が異なる為、各級ごとに講義を行う必要があります。また、限られた教員数で個々の生徒からの質問に対応しなければなりません。そこで「すらら」を利用することで、教員負担を増やすことなく、生徒一人ひとりの小さな疑問にもさらにきめ細かく対応できる学習を目指していきます。

具体的には検定取得を希望する生徒たちに対して、対策講座内で各個人の目指す検定級にあわせた単元を学習させ、学習中に明らかとなる個々の弱点を抽出し、一人ひとりに合わせた課題を設定し、講座内ならびに家庭学習のさらなる充実を図ります。

【副校長 高橋 知仁 様 コメント】

本校では、全教員・全学年に iPad を導入し、ICT 活用によって、従来の授業とは異なる様々なチャレンジをしています。一方でそうしたチャレンジを支えるために必要なのが基礎学力の定着と考えています。

本校では、客観的な基準である検定の取得支援に今後さらに力を入れることで、生徒の学力を図り、学ぶ楽しみを知り、学ぶ意欲を高める学習を提供していきたいと考えています。こうした e ラーニングを使った指導の成功のためには、教員による生徒の学習サポートに加え、教員を支えるサポート体制が必要不可欠です。これまで多くの学校で学力向上の成果をあげてきた「すらら」とそのサポートによって効果が上がることを楽しみにしています。

すららネットは、2005年より100校を超える学校のICT導入支援を行い、定量的な成績向上を実現して参りました。そこで培ってきたノウハウも合わせて提供することで、単なる教材の導入にとどまらない学力向上を実現してまいります。

すららネットの「すらら」は、個に対応できるアダプティブな先進機能などを評価され2012年に「日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞」を受賞しています。また、桜丘中学・高等学校も、ICTを活用した先進的な取り組みを評価され、2015年に同賞を受賞しました。

今回は、両者が協力することで、ICTを活用して、学校の教育方針にもとづき、より教育効果を高める個への対応を可能にする運営スタイルを開発してまいります。

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校 3 年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 34,000 名（2016 年 6 月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1 つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

■「すらら」の人工知能

AI が個々の生徒の学習データに基づき先生の代わりに生徒と対話を行う機能「AI サポーター」を搭載。慶應義塾大学 中室牧子研究室と行った共同研究の結果を受け、「努力を促す声掛け」を中心に変更し 2017 年 4 月 16 日より正式運用を開始予定。生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を促す。

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
 - ・ 第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞 (2012 年)
 - ・ Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞 (2014 年)
 - ・ 第 2 回 「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞） (2016 年)
 - ・ 第 8 回 「千代田ビジネス大賞」大賞 (2016 年)